

平成 21 年度
市民意識調査報告書

平成 21 年 11 月
伊勢崎市企画部企画調整課

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、市町村合併後、新たに策定された総合計画の進行管理の一環として、市民意識の動向と現在の市民の多様なニーズを統計的に把握し、その結果を平成 23 年度からスタートする後期基本計画の策定に反映させることを目的とする。

2 調査の方法

- (1) 調査地域 伊勢崎市全域
- (2) 調査対象者 伊勢崎市に在住する満 20 歳以上の人
- (3) サンプル数 2,000 人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 実施方法 調査票を郵送し、回答のうえ返信用封筒にて返送
- (6) 調査期間 平成 21 年 9 月 1 日(火)～9 月 23 日(水)

3 調査項目

今回の意識調査は、総合計画の体系に基づいた各施策について、市民の考える満足度及び重要度の把握を中心に実施する。

(1) 回答者の属性

回答者の性別、年齢、職業、本市居住年数及び居住地区などを調査し、それらの属性からの傾向を把握する。

(2) 本市のまちづくりの進捗、行政サービスのあり方など

合併後のまちづくりに対して、市民が感じている進捗の度合い及び印象、また、行政サービスのあり方等を調査し、均衡ある発展を目指したまちづくり全体の方向性を模索する。

(3) 市長のマニフェストに期待すること

市長がマニフェストのスローガンとして掲げた「伊勢崎をもっと元気に、もっと豊かに、もっと安全に」を実現するため、また、「まちの賑わい(活性化)」を創出するために、市民が期待する分野別の施策を調査し、マニフェストの実現に向けた具体的なまちづくりの方向性を模索する。

(4) まちづくり施策に対する認識(満足度・重要度)

「伊勢崎市総合計画」に体系付けられた 59 施策について、その「満足度」と「重要度」について調査し、まちづくりに対する市民ニーズ及び意識・意向を把握する。

II 調査の結果

1 回答者の属性【問1】

調査対象者2,000人のうち816人から回答をいただき、回収率は40.80%となった。

(1) 性別【問1(1)】

性別については、「男性」が404人(49.51%)、「女性」が404人(49.51%)、「無回答」が8人(0.98%)で、男女同数となった。

なお、回答率(男女1,000部ずつ配布)については、ともに40.40%となった。

(2) 年齢【問1(2)】

年齢については、「20代」が78人(9.56%)、「30代」が122人(14.95%)、「40代」が127人(15.56%)、「50代」が154人(18.87%)、「60代」が172人(21.08%)、「70代」が110人(13.48%)、「80代以上」が45人(5.51%)、「無回答」が8人(0.98%)となった。

なお、回答率(20代から60代は330部ずつ、70代以上は350部配布)については、「20代」が23.64%、「30代」が36.97%、「40代」が38.48%、「50代」が46.67%、「60代」が52.12%、「70代以上」が44.29%で、20代の関心が最も低いという結果となった。

(3) 職業【問1(3)】

職業については、「会社員・公務員・団体職員」が254人(31.13%)、「自営業」が82人(10.05%)、「主婦・主夫」が126人(15.44%)、「パートタイマー・アルバイト」が102人(12.50%)、「学生」が13人(1.59%)、「無職」が196人(24.02%)、「その他」が35人(4.29%)、「無回答」が8人(0.98%)となった。

なお、「その他」については、「農業」、「会社役員」などがあつた。

(4) 居住年数【問1(4)】

居住年数については、「5年未満」が63人(7.72%)、「5年～10年未満」が34人(4.17%)、「10年～20年未満」が86人(10.54%)、「20年以上」が623人(76.35%)、「無回答」が10人(1.23%)で、20年以上居住している人の意見が大多数を占める結果となった。

(5) 居住地域【問1(5)】

居住地域については、「旧伊勢崎地区の合計」が506人(62.01%)、「赤堀地区」が74人(9.07%)、「東地区」が94人(11.52%)、「境地区」が128人(15.69%)、「無回答」が14人(1.72%)となった。

また、「旧伊勢崎地区の合計」の内訳については、「北地区」が42人(8.30%)、「南地区」が36人(7.11%)、「殖蓮地区」が77人(15.22%)、「茂呂地区」が57人(11.26%)、

「三郷地区」が 67 人 (13.24%)、「宮郷地区」が 89 人 (17.59%)、「名和地区」が 67 人 (13.24%)、「豊受地区」が 71 人 (14.03%)となった。

なお、回答率(旧伊勢崎地区は 1,255 部、赤堀地区は 206 部、東地区は 242 部、境地区は 297 部配布)については、「旧伊勢崎地区」が 40.32%、「赤堀地区」が 35.92%、「東地区」が 38.84%、「境地区」が 43.10%となった。

(1) 性別

| | 回答数 | 割合 | 配布数 | 回収率 |
|-----|-----|---------|-------|--------|
| 男性 | 404 | 49.51% | 1,000 | 40.40% |
| 女性 | 404 | 49.51% | 1,000 | 40.40% |
| 無回答 | 8 | 0.98% | - | - |
| 計 | 816 | 100.00% | 2,000 | 40.80% |

(2) 年齢

| | 回答数 | 割合 | 配布数 | 回収率 |
|-------|-----|---------|--------|--------|
| 20代 | 78 | 9.56% | 330 | 23.64% |
| 30代 | 122 | 14.95% | 330 | 36.97% |
| 40代 | 127 | 15.56% | 330 | 38.48% |
| 50代 | 154 | 18.87% | 330 | 46.67% |
| 60代 | 172 | 21.08% | 330 | 52.12% |
| 70代 | 110 | 13.48% | 350 | 44.29% |
| 80代以上 | 45 | 5.51% | (含70代) | - |
| 無回答 | 8 | 0.98% | - | - |
| 計 | 816 | 100.00% | 2,000 | 40.80% |

(3) 職業

| | 回答数 | 割合 |
|-----|-----|---------|
| 会社員 | 254 | 31.13% |
| 自営業 | 82 | 10.05% |
| 主婦 | 126 | 15.44% |
| パート | 102 | 12.50% |
| 学生 | 13 | 1.59% |
| 無職 | 196 | 24.02% |
| その他 | 35 | 4.29% |
| 無回答 | 8 | 0.98% |
| 計 | 816 | 100.00% |

(4) 居住年数

| | 回答数 | 割合 |
|--------|-----|---------|
| 5年未満 | 63 | 7.72% |
| 5～9年 | 34 | 4.17% |
| 10～19年 | 86 | 10.54% |
| 20年以上 | 623 | 76.35% |
| 無回答 | 10 | 1.23% |
| 計 | 816 | 100.00% |

(5) 居住地域

| | 回答数 | 割合 | 旧市割合 | 配布数 | 回収率 |
|-------|-----|---------|---------|-------|--------|
| 北地区 | 42 | - | 8.30% | - | - |
| 南地区 | 36 | - | 7.11% | - | - |
| 殖蓮地区 | 77 | - | 15.22% | - | - |
| 茂呂地区 | 57 | - | 11.26% | - | - |
| 三郷地区 | 67 | - | 13.24% | - | - |
| 宮郷地区 | 89 | - | 17.59% | - | - |
| 名和地区 | 67 | - | 13.24% | - | - |
| 豊受地区 | 71 | - | 14.03% | - | - |
| 旧伊勢崎計 | 506 | 62.01% | 100.00% | 1,255 | 40.32% |
| 赤堀地区 | 74 | 9.07% | - | 206 | 35.92% |
| 東地区 | 94 | 11.52% | - | 242 | 38.84% |
| 境地区 | 128 | 15.69% | - | 297 | 43.10% |
| 無回答 | 14 | 1.72% | - | - | - |
| 計 | 816 | 100.00% | - | 2,000 | 40.80% |

2 本市のまちづくりの進捗、行政サービスのあり方など【問2から問7まで】

(1) 合併後のまちづくりの進捗【問2(1)】

「ある程度進んだ」を含め、「まちづくりが進んだ」と回答した人は 222 人(27.78%)、「全く進んでいない」を含め、「変化が無い」と回答した人は 577 人(72.22%)で、多くの人が「進捗していない」と回答した。

地区別でみると、「進捗した」と回答した人の割合が多かったのは、「北地区」の 19 人(45.23%)、次いで「東地区」の 35 人(37.63%)、「三郷地区」の 23 人(34.85%)で、「進捗していない」と回答した人の割合が多かったのは、「赤堀地区」の 60 人(83.33%)、次いで「境地区」の 104 人(81.89%)、「豊受地区」の 52 人(73.24%)となった。

また、年代別でみると、「進捗した」という回答の割合が多かったのは、「80代以上」の 17 人(39.54%)で、「進捗していない」という回答の割合が多かったのは、「50代」の 119 人(77.78%)となった。

(2) 合併後の行政サービス【問2(2)】

「ある程度」を含め、「サービスが向上した」と回答した人は 172 人(21.48%)、「変化が無い」と回答した人は 514 人(64.17%)、「低下した」と回答した人は 115 人(14.36%)で、多くの人が「変化が無い」と回答した。

しかし、「低下した」と回答した人の割合を地区別でみると、「旧伊勢崎地区の合計」の 25 人(4.99%)に対して、旧町村の「赤堀地区」では 28 人(38.36%)、「東地区」では 22 人(23.66%)、「境地区」では 40 人(31.50%)と、多くの人が「低下した」と感じているという結果となった。

なお、年代別では、「低下した」と回答した人に差異はみられなかったが、「80代以上」の 20 人(44.44%)の人が、「ある程度」を含んで、「向上した」と回答したことが目立った。

(3) 市役所をより良くするために【問3】

最も多かった回答は、「事業の効率化や整理統合による経費節減」で 306 人(37.97%)、次いで「住民サービスの向上」が 251 人(31.14%)、「職員数の削減」が 188 人(23.33%)となった。

地区別では特に大きな差異はみられなかったが、年代別では「20代」から「70代」の人は「事業の効率化」の回答が多かったことに対し、「80代以上」の人は「住民サービスの向上」が特に多かった。

また、「その他」の意見としては「職員の意識改革」などがあった。

(4) 公共施設整備【問4】

「既存施設の有効活用」が 496 人(61.46%)、「新しい施設は必要無い(1番と3番)」が 248 人(30.73%)と大多数を占め、「新しい施設が必要」と回答した人は僅か 35 人(4.34%)であった。

しかし、「既存施設の有効活用」という回答では、地区別でみると「殖蓮地区」の

54人(70.13%)と「赤堀地区」の37人(50.68%)と差が生じ、年代別でみると「60代」の125人(72.67%)と「20代」の40人(51.28%)という差が生じた。

また、「その他」では「本当に必要かどうかを見極めた上で検討すべき」という意見が非常に多かった。

(5) 道路整備【問5】

「道路は充分整備されているので、他の事業に振り分けてもらいたい」と回答した人が、289人(35.90%)と一番多かった。

しかし、「道路整備優先(1番・2番・3番)」と「他の事業優先」の比率を地区別にみると、全体では「道路整備優先」が「他の事業優先」の1.65倍であることに対して、「赤堀地区」では3.25倍、「三郷地区」では2.10倍、「名和地区」では2.05倍、「境地区」では2.00倍と、「道路整備」を望む意見が多い結果となった。

また、年代別で同様に比較してみると、「80代以上」が3.09倍、「70代」が2.57倍と、高齢者が「道路整備」を望んでいる結果となった。

なお、「道路整備」のみでみると、地区別、年齢別とも「幹線道路」より「生活道路」を優先してもらいたいという意見が多かった。

(6) 保健・福祉サービスと負担のあり方について【問6】

全体では、「高齢者の負担増は仕方ない」が211人(26.88%)、「若い世代の負担は増えないように」が220人(28.03%)、「若い世代の負担増も仕方ない」が221人(28.15%)と同等の結果となった。

しかし、地区別でみると、「高齢者の負担増は仕方ない」と回答した人は、「北地区」の17人(43.59%)と「茂呂地区」の10人(17.86%)、「若い世代の負担増も仕方ない」と回答した人は、「東地区」の33人(36.67%)と「北地区」の7人(17.95%)と差が生じた。

また、年齢別にみると、「70代」の44人(41.12%)と「80代以上」の18人(41.86%)という高い割合で、「若い世代の負担が増えないように」と回答している。

(7) 職員に求められるものについて【問7】

「市民の視点を忘れずに対応する」が556人(23.57%)と一番多く、次いで「コスト意識・経営感覚を身につける」が411人(17.12%)、「行政のプロとしての自覚をもつ」が266人(11.08%)となった。

なお、地区別、年代別とも大きな差異はみられなかった。

3 市長のマニフェストに期待すること【問8から問9】

(1) もっと元気に【問8(1)】

最も多かった回答は、「健康・医療分野」の292人(18.58%)、次いで「福祉分野」の264人(16.79%)、「経済・文化分野」の244人(15.52%)となった。

地区別にみると、「健康・医療分野」の回答が多かったのは「殖蓮地区」、「茂呂地

区」、「豊受地区」、「赤堀地区」で、「福祉分野」の回答が多かったのは「宮郷地区」、「東地区」で、「経済・文化分野」の回答が多かったのは「北地区」、「南地区」、「三郷地区」、「境地区」であった。

また、世代別にみると、「健康・医療分野」の回答が多かったのは「60代」、「福祉分野」の回答が多かったのは「30代」、「経済・文化分野」の回答が多かったのは「20代」、「50代」であり、「40代」と「80代以上」は「教育分野」と回答した人が多かった。

(2) もっと豊かに【問8(2)】

最も多かった回答は、「経済・文化分野」の356人(22.89%)、次いで「行財政運営分野」の239人(15.37%)、「福祉分野」の215人(13.83%)となった。

地区別にみると、「経済・文化分野」は「北地区」以外の全地区で最も回答が多く、「北地区」では「教育分野」と回答した人が多かった。

なお、世代別では全世代で、「経済・文化分野」と回答した人が最も多かった。

(3) もっと安全に【問8(3)】

最も多かった回答は、「安心安全分野」の656人(42.57%)、次いで「都市整備分野」の344人(22.32%)、「環境分野」の184人(11.94%)となった。

やはり、地区別、世代別にみても、「安心安全分野」と回答した人が最も多い結果となった。

(4) まちの賑わい創出(活性化)【問9】

最も多かった回答は、「中心市街地の基盤整備」の366人(15.69%)、次いで「公共交通機関の充実」の339人(14.54%)、「地域福祉の充実」の320人(13.72%)となった。

地区別にみると、「旧伊勢崎地区の合計」では「中心市街地の基盤整備」と回答した人が最も多かったことに対し、「赤堀地区」、「東地区」では「公共交通機関の充実」と回答した人が最も多く、「境地区」でも多くの人が回答した。

また、世代別にみると、「中心市街地の基盤整備」の回答が多かったのは「30代」、「40代」、「60代」、「公共交通機関の充実」の回答が多かったのは「20代」、「地域福祉の充実」の回答が多かったのは「50代」、「70代」、「80代以上」であった。

4 まちづくりの施策に対する認識(満足度・重要度)【問10】

満足度と重要度の得点については「満足」と「重要」を4点とし、以下「やや満足」と「やや重要」を3点、「やや不満」と「あまり重要でない」を2点、「不満」と「重要でない」を1点として平均値を算出している。よって、純粋な平均得点はいずれも2.500点となっている。

また、「満足」と「不満」の割合については、「満足」と「やや満足」を「満足」とし、「やや不満」と「不満」を「不満」として、人数の割合を算出している。

なお、いずれも「わからない(無回答含む)」については、算出の対象としていない。

(1) 全体の満足度

全体の満足度の平均については 2.328 点で、平均得点である 2.500 点を 0.172 ポイント下回る結果となった。

地区別で比較すると、「北地区」が 2.415 点(平均得点との差 Δ 0.085)、「南地区」が 2.293 点(Δ 0.207)、「殖蓮地区」が 2.284 点(Δ 0.216)、「茂呂地区」が 2.356 点(Δ 0.144)、「三郷地区」が 2.370 点(Δ 0.130)、「宮郷地区」が 2.426 点(Δ 0.074)、「名和地区」が 2.350 点(Δ 0.150)、「豊受地区」が 2.284 点(Δ 0.216)、「旧伊勢崎地区の合計」が 2.347 点(Δ 0.153)、「赤堀地区」が 2.140 点(Δ 0.360)、「東地区」が 2.287 点(Δ 0.213)、「境地区」が 2.364 点(Δ 0.136)で、「宮郷地区」が最も高く、「赤堀地区」が最も低かった。

また、年齢別で比較すると「20代」が 2.200 点(Δ 0.300)、「30代」が 2.294 点(Δ 0.206)、「40代」が 2.249 点(Δ 0.251)、「50代」が 2.227 点(Δ 0.273)、「60代」が 2.386 点(Δ 0.114)、「70代」が 2.476 点(Δ 0.024)、「80代以上」が 2.620 点(+0.120)で、「70代」と「80代以上」の満足度が比較的高いという結果となった。

(2) 満足度の割合

全体で「満足」と回答した人の割合は、44.76%で過半数を割る結果となった。

地区別で過半数を超えたのは、「北地区」の 51.03%と「宮郷地区」の 50.02%のみで、軒並み過半数を割っており、特に「赤堀地区」では、35.50%と非常に低い数字となった。

また、年代別でも過半数を超えたのは、「70代」の 53.56%と「80代以上」の 60.54%のみで、「20代」の 38.68%や「50代」の 38.38%のように、非常に低い結果となった。

(3) 全体の重要度

全体の重要度の平均については 3.322 点で、平均得点である 2.500 点を 0.822 ポイント上回る結果となった。

地区別でも、「北地区」が 3.320 点(平均得点との差+0.820)、「南地区」が 3.329 点(+0.829)、「殖蓮地区」が 3.386 点(+0.886)、「茂呂地区」が 3.387 点(+0.887)、「三郷地区」が 3.343 点(+0.843)、「宮郷地区」が 3.317 点(+0.817)、「名和地区」が 3.283 点(+0.783)、「豊受地区」が 3.361 点(+0.861)、「旧伊勢崎地区の合計」が 3.341 点(+0.841)、「赤堀地区」が 3.276 点(+0.776)、「東地区」が 3.272 点(+0.772)、「境地区」が 3.305 点(+0.805)と、重要度は高いという回答だった。

また、年代別でも、「20代」が 3.364 点(+0.864)、「30代」が 3.274 点(+0.774)、「40代」が 3.257 点(+0.757)、「50代」が 3.252 点(+0.752)、「60代」が 3.363 点(+0.863)、「70代」が 3.406 点(+0.906)、「80代以上」が 3.496 点(+0.996)で、やはり重要度は高いという結果となった。

(4) 施策ごとの満足度

最も満足度が高かった施策は、「消防・救急体制の充実」の 2.811 点(+0.311)で、

最も満足度が低かった施策は、「雇用の安定と勤労者福祉の充実」の 1.927 点(△0.573)であった。

なお地区別、年代別の上位と下位は、下表のような結果となった。

| 地区別 | 最も高い満足度 | | | 最も低い満足度 | | |
|-------|-------------|-------|--------|----------------|-------|--------|
| | 施策 | 得点 | 差 | 施策 | 得点 | 差 |
| 北地区 | 安定的な水道の供給 | 3.063 | +0.563 | 健全な財政運営 | 1.857 | △0.643 |
| 南地区 | 安定的な水道の供給 | 2.964 | +0.464 | 活力ある中心市街地の整備 | 1.727 | △0.773 |
| 殖蓮地区 | 安定的な水道の供給 | 2.754 | +0.254 | 活力ある中心市街地の整備 | 1.864 | △0.636 |
| 茂呂地区 | 消防・救急体制の充実 | 2.938 | +0.438 | 活力ある商業の振興 | 1.733 | △0.767 |
| 三郷地区 | 保健予防サービスの推進 | 2.894 | +0.394 | 雇用の安定と勤労者福祉の充実 | 1.882 | △0.618 |
| 宮郷地区 | 消防・救急体制の充実 | 2.889 | +0.389 | 効率的な行政運営 | 1.945 | △0.555 |
| 名和地区 | 消防・救急体制の充実 | 2.911 | +0.411 | 工業の振興と流通機能の強化 | 1.917 | △0.583 |
| 豊受地区 | 児童の健全な心身の育成 | 2.808 | +0.308 | 雇用の安定と勤労者福祉の充実 | 1.795 | △0.705 |
| 旧伊勢崎計 | 消防・救急体制の充実 | 2.815 | +0.315 | 雇用の安定と勤労者福祉の充実 | 1.940 | △0.560 |
| 赤堀地区 | 児童の健全な心身の育成 | 2.700 | +0.200 | 効率的な行政運営 | 1.667 | △0.833 |
| 東地区 | 消防・救急体制の充実 | 2.759 | +0.259 | 保育の充実 | 1.963 | △0.537 |
| 境地区 | 消防・救急体制の充実 | 2.902 | +0.402 | 持続可能な農業の振興 | 1.914 | △0.586 |

年代別

| | | | | | | |
|-------|-------------|-------|--------|----------------|-------|--------|
| 20代 | 消防・救急体制の充実 | 2.879 | +0.379 | 保育の充実 | 1.686 | △0.814 |
| 30代 | 公園の整備と緑化推進 | 2.820 | +0.320 | 健全な財政運営 | 1.843 | △0.657 |
| 40代 | 市民サービスの向上 | 2.731 | +0.231 | 効率的な行政運営 | 1.778 | △0.722 |
| 50代 | 消防・救急体制の充実 | 2.684 | +0.184 | 効率的な行政運営 | 1.696 | △0.804 |
| 60代 | 市民サービスの向上 | 2.896 | +0.396 | 雇用の安定と勤労者福祉の充実 | 1.826 | △0.674 |
| 70代 | 電子自治体の構築 | 2.970 | +0.470 | 工業の振興と流通機能の強化 | 2.037 | △0.463 |
| 80代以上 | 児童の健全な心身の育成 | 3.222 | +0.722 | 障害者の自立支援 | 2.300 | △0.200 |

※ 70代で「電子自治体の構築」が1位となった理由については、質問が「申請手続きの電子化など市民サービスの向上」となっていたため、「処理の迅速化による市民サービスの向上」と読み取ったためと考えられる。

(5) 施策ごとの重要度

最も重要度が高かった施策は、「防犯対策の強化」の 3.814 点(+1.314)で、最も重要度が低かった施策は、「地域の国際化の推進」の 2.802 点(+0.302)であった。

なお地区別、年代別の上位と下位は、下表のような結果となった。

| 地区別 | 最も高い重要度 | | | 最も低い重要度 | | |
|-------|------------|-------|--------|------------|-------|--------|
| | 施策 | 得点 | 差 | 施策 | 得点 | 差 |
| 北地区 | 防犯対策の強化 | 3.868 | +1.368 | 文化財の保護と活用 | 2.538 | +0.038 |
| 南地区 | 健全な財政運営 | 3.871 | +1.371 | 魅力ある観光の振興 | 2.621 | +0.121 |
| 殖蓮地区 | 医療体制の充実と強化 | 3.853 | +1.353 | 魅力ある観光の振興 | 2.918 | +0.418 |
| 茂呂地区 | 防犯対策の強化 | 3.900 | +1.400 | 魅力ある市街地の整備 | 2.826 | +0.326 |
| 三郷地区 | 防犯対策の強化 | 3.903 | +1.403 | 文化財の保護と活用 | 2.764 | +0.264 |
| 宮郷地区 | 防犯対策の強化 | 3.837 | +1.337 | 地域の国際化の推進 | 2.712 | +0.212 |
| 名和地区 | 防犯対策の強化 | 3.803 | +1.303 | 魅力ある市街地の整備 | 2.709 | +0.209 |
| 豊受地区 | 社会保障制度の充実 | 3.814 | +1.314 | 魅力ある市街地の整備 | 2.803 | +0.303 |
| 旧伊勢崎計 | 防犯対策の強化 | 3.840 | +1.340 | 地域の国際化の推進 | 2.834 | +0.334 |
| 赤堀地区 | 消防・救急体制の充実 | 3.778 | +1.278 | 魅力ある観光の振興 | 2.661 | +0.161 |
| 東地区 | 防犯対策の強化 | 3.779 | +1.279 | 文化財の保護と活用 | 2.712 | +0.212 |
| 境地区 | 効率的な行政運営 | 3.591 | +1.091 | 文化の継承と創造 | 3.046 | +0.546 |

年代別

| | | | | | | |
|-------|------------|-------|--------|------------|-------|--------|
| 20代 | 防犯対策の強化 | 3.838 | +1.338 | 魅力ある市街地の整備 | 2.838 | +0.338 |
| 30代 | 防犯対策の強化 | 3.812 | +1.312 | 魅力ある観光の振興 | 2.649 | +0.149 |
| 40代 | 医療体制の充実と強化 | 3.767 | +1.267 | 地域の国際化の推進 | 2.667 | +0.167 |
| 50代 | 防犯対策の強化 | 3.797 | +1.297 | 魅力ある観光の振興 | 2.713 | +0.213 |
| 60代 | 防犯対策の強化 | 3.842 | +1.342 | 地域の国際化の推進 | 2.681 | +0.181 |
| 70代 | 消防・救急体制の充実 | 3.865 | +1.365 | 文化財の保護と活用 | 2.788 | +0.288 |
| 80代以上 | 安定的な水道の供給 | 3.839 | +1.339 | 地域の国際化の推進 | 3.000 | +0.500 |

(6) 満足度・重要度の散布図

各施策の分布状況については、満足度を横軸に、重要度を縦軸にとり、それぞれ全体の平均点(満足度 2.328 点、重要度 3.322 点)を境として、4つの領域に分類した。

A 重点改善施策

重要度が高いにもかかわらず満足度が低いため、満足度を向上させられるよう、最優先で改善すべき施策。

【効率的な行政運営、健全な財政運営 など】

B 改善施策

重要度は低いが満足度も低いため、満足度の向上を意識して改善すべき施策。

【高等教育機関の充実と連携、適正な土地利用と良好な景観形成 など】

C 重点維持施策

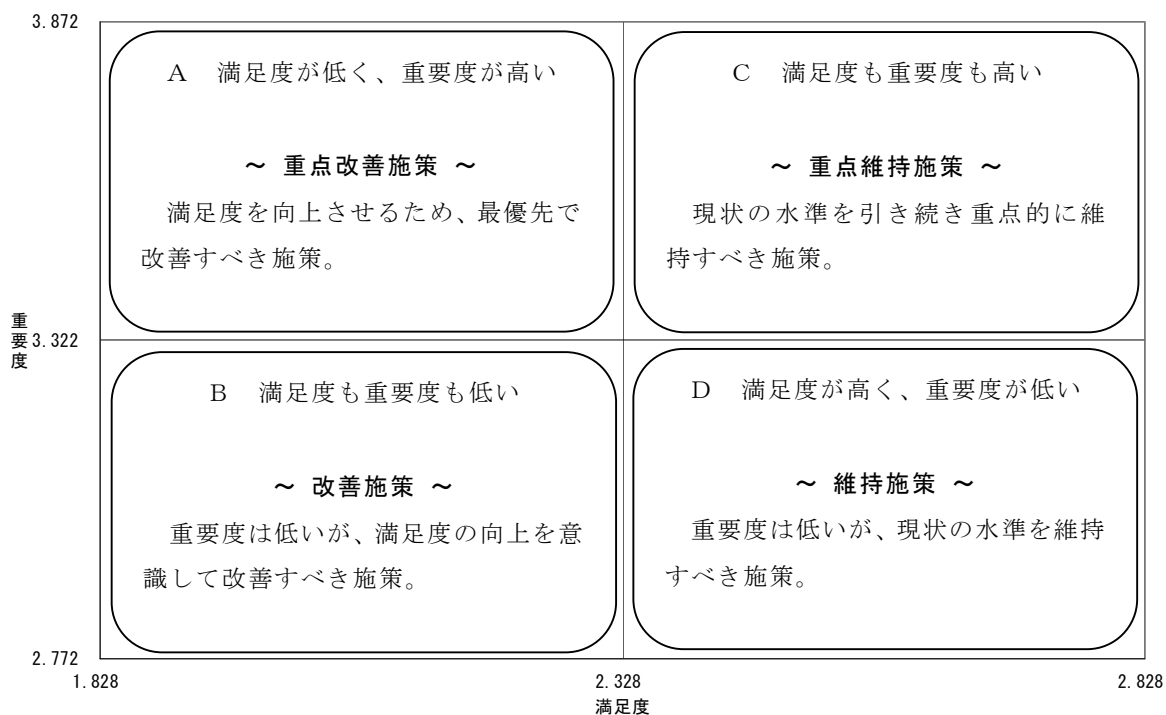
重要度も満足度も高いため、現状の水準を引き続き重点的に維持すべき施策。

【児童の健全な心身の育成、教育施設の充実 など】

D 維持施策

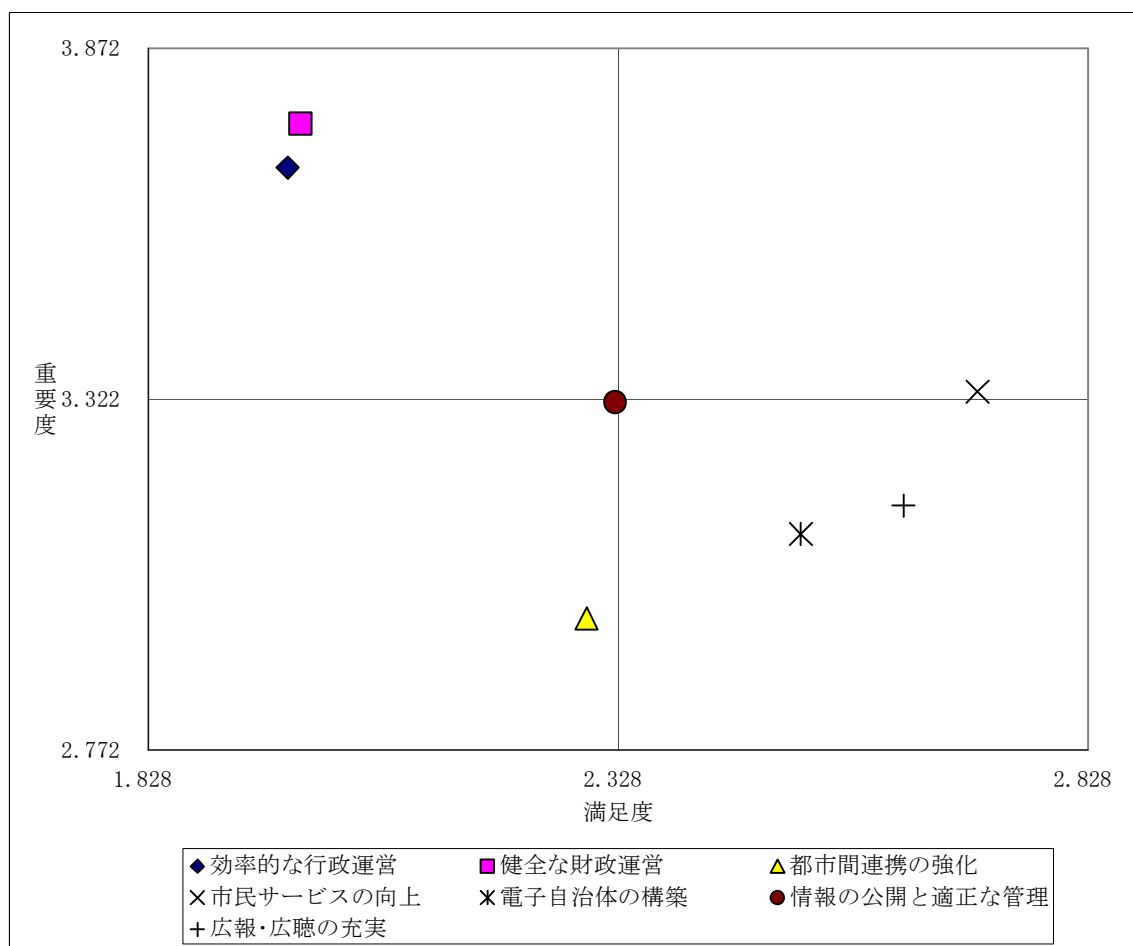
重要度は低いが満足度は高いため、現状の水準を維持すべき施策。

【電子自治体の構築、広報・広聴の充実 など】



行財政分野
全体

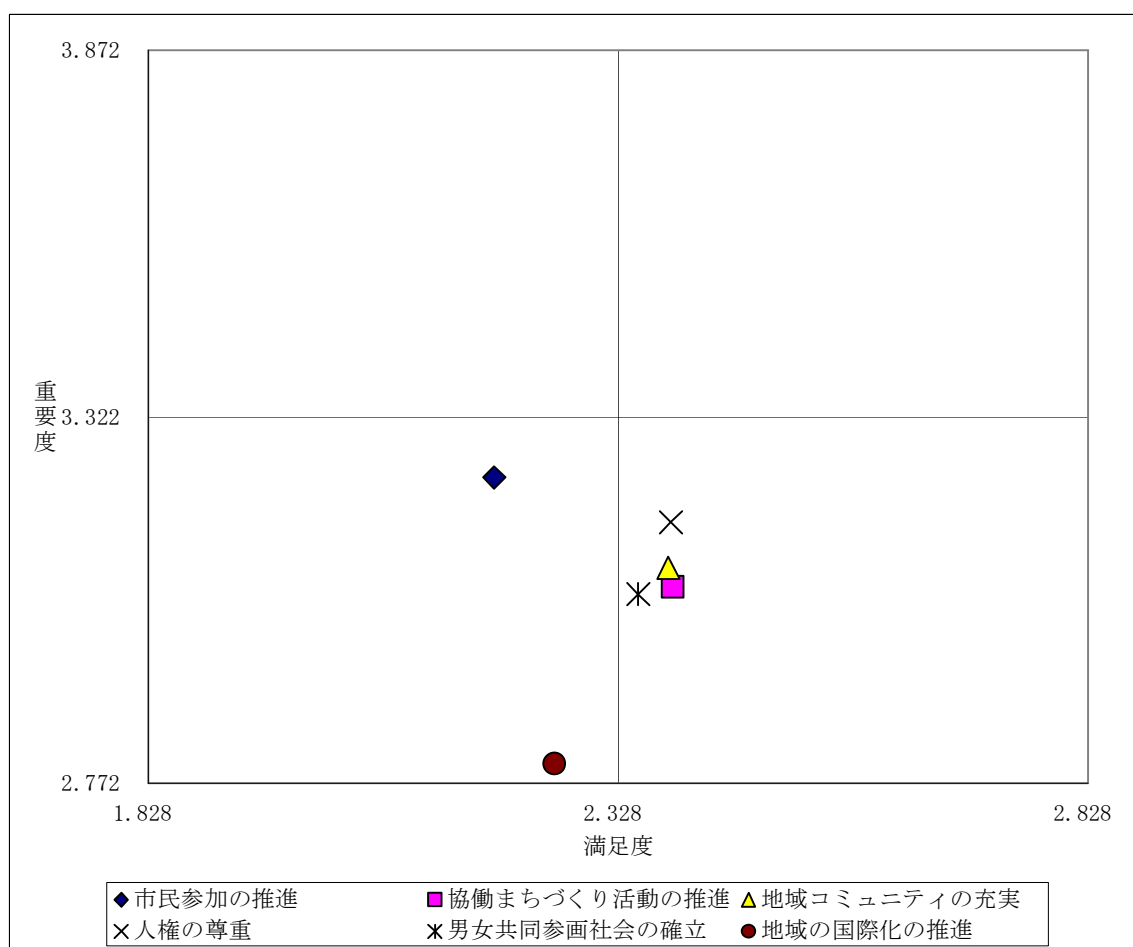
| | 得点 | | 割合 | |
|-------------|-------|-------|--------|--------|
| | 満足度 | 重要度 | 満足 | 不満 |
| 効率的な行政運営 | 1.976 | 3.685 | 25.54% | 74.46% |
| 健全な財政運営 | 1.990 | 3.753 | 26.90% | 73.10% |
| 都市間連携の強化 | 2.294 | 2.978 | 40.46% | 59.54% |
| 市民サービスの向上 | 2.710 | 3.333 | 66.82% | 33.18% |
| 電子自治体の構築 | 2.522 | 3.110 | 56.05% | 43.95% |
| 情報の公開と適正な管理 | 2.324 | 3.317 | 45.10% | 54.90% |
| 広報・広聴の充実 | 2.631 | 3.155 | 62.26% | 37.74% |



協働共生分野

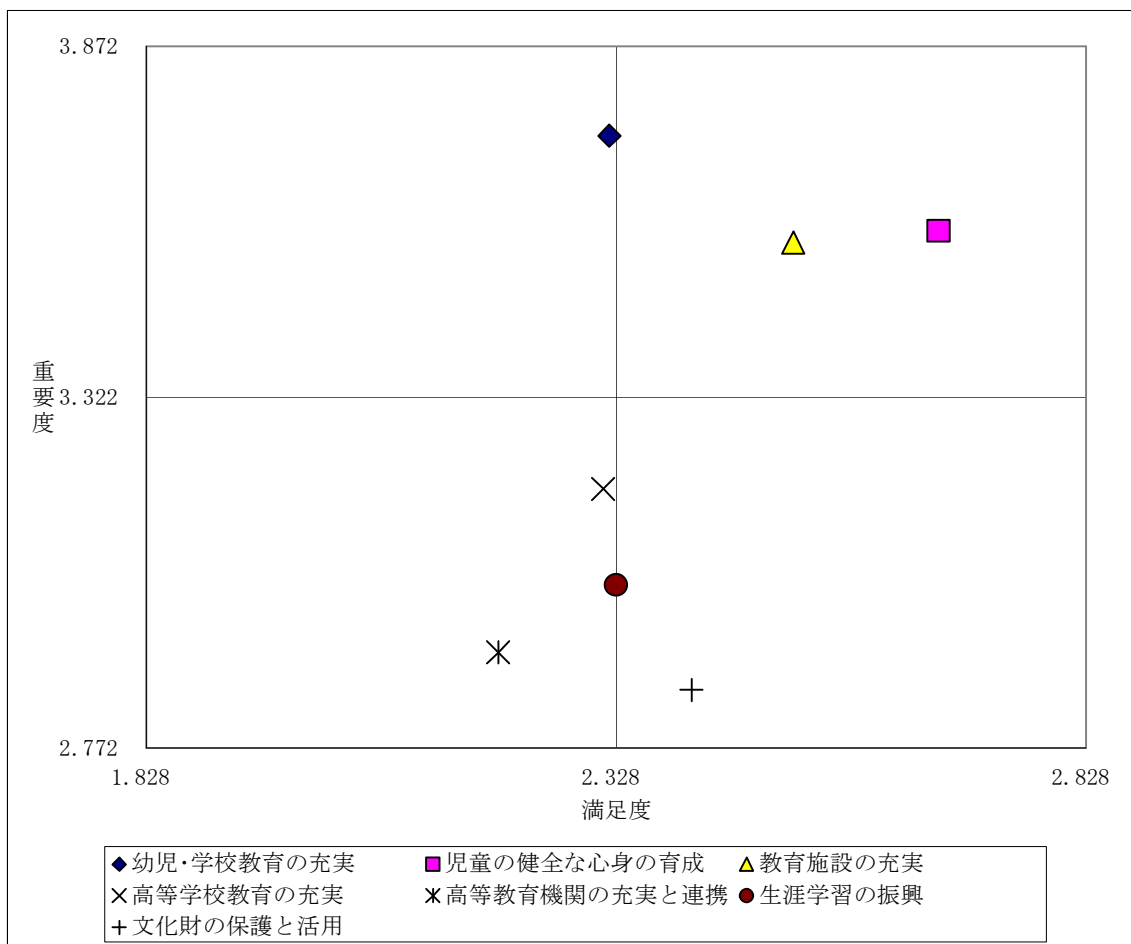
全体

| | 得点 | | 割合 | |
|--------------|-------|-------|--------|--------|
| | 満足度 | 重要度 | 満足 | 不満 |
| 市民参加の推進 | 2.196 | 3.231 | 36.53% | 63.47% |
| 協働まちづくり活動の推進 | 2.386 | 3.066 | 43.53% | 56.47% |
| 地域コミュニティの充実 | 2.381 | 3.096 | 46.95% | 53.05% |
| 人権の尊重 | 2.384 | 3.164 | 45.97% | 54.03% |
| 男女共同参画社会の確立 | 2.349 | 3.055 | 44.96% | 55.04% |
| 地域の国際化の推進 | 2.260 | 2.802 | 39.90% | 60.10% |



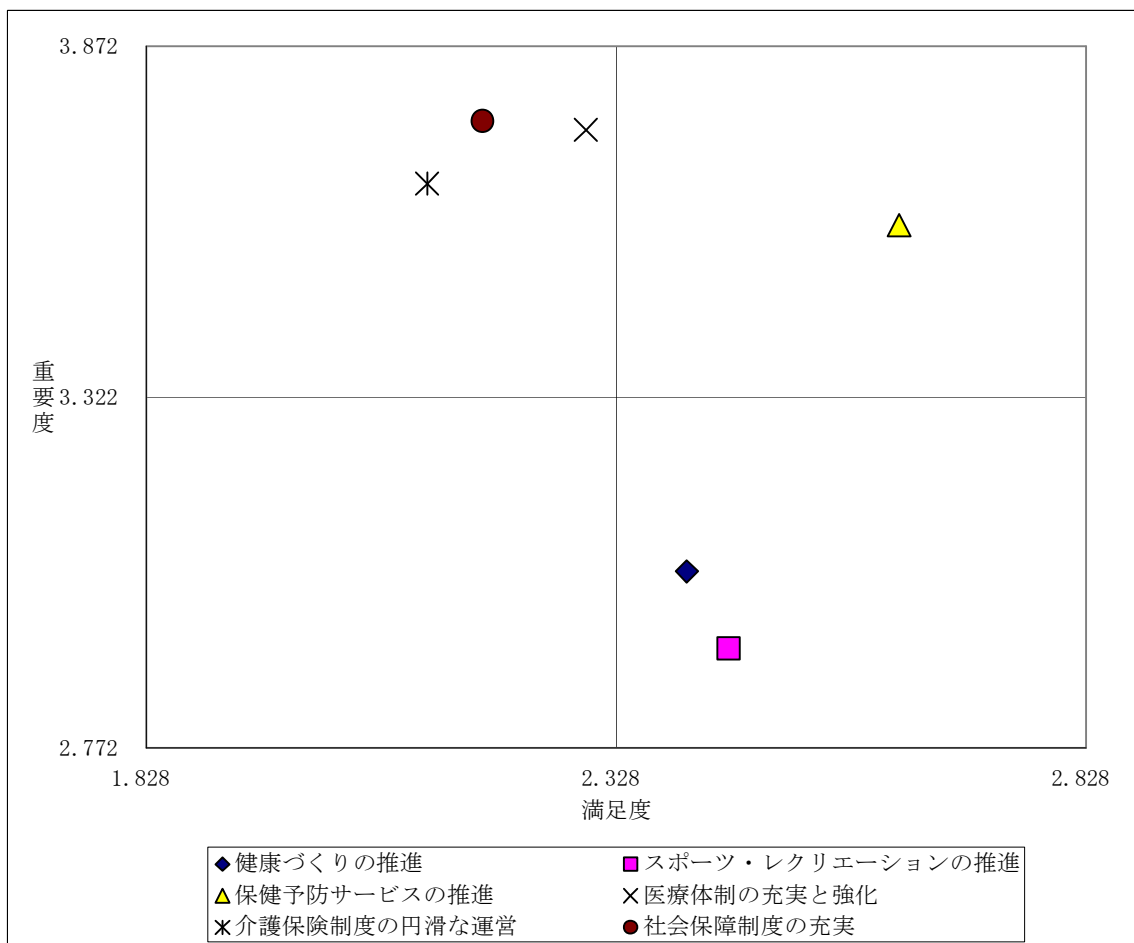
教育分野
全体

| | 得点 | | 割合 | |
|--------------|-------|-------|--------|--------|
| | 満足度 | 重要度 | 満足 | 不満 |
| 幼児・学校教育の充実 | 2.320 | 3.732 | 44.16% | 55.84% |
| 児童の健全な心身の育成 | 2.671 | 3.582 | 63.64% | 36.36% |
| 教育施設の充実 | 2.516 | 3.564 | 55.56% | 44.44% |
| 高等学校教育の充実 | 2.314 | 3.178 | 46.04% | 53.96% |
| 高等教育機関の充実と連携 | 2.202 | 2.921 | 36.76% | 63.24% |
| 生涯学習の振興 | 2.328 | 3.027 | 43.84% | 56.16% |
| 文化財の保護と活用 | 2.408 | 2.863 | 50.31% | 49.69% |



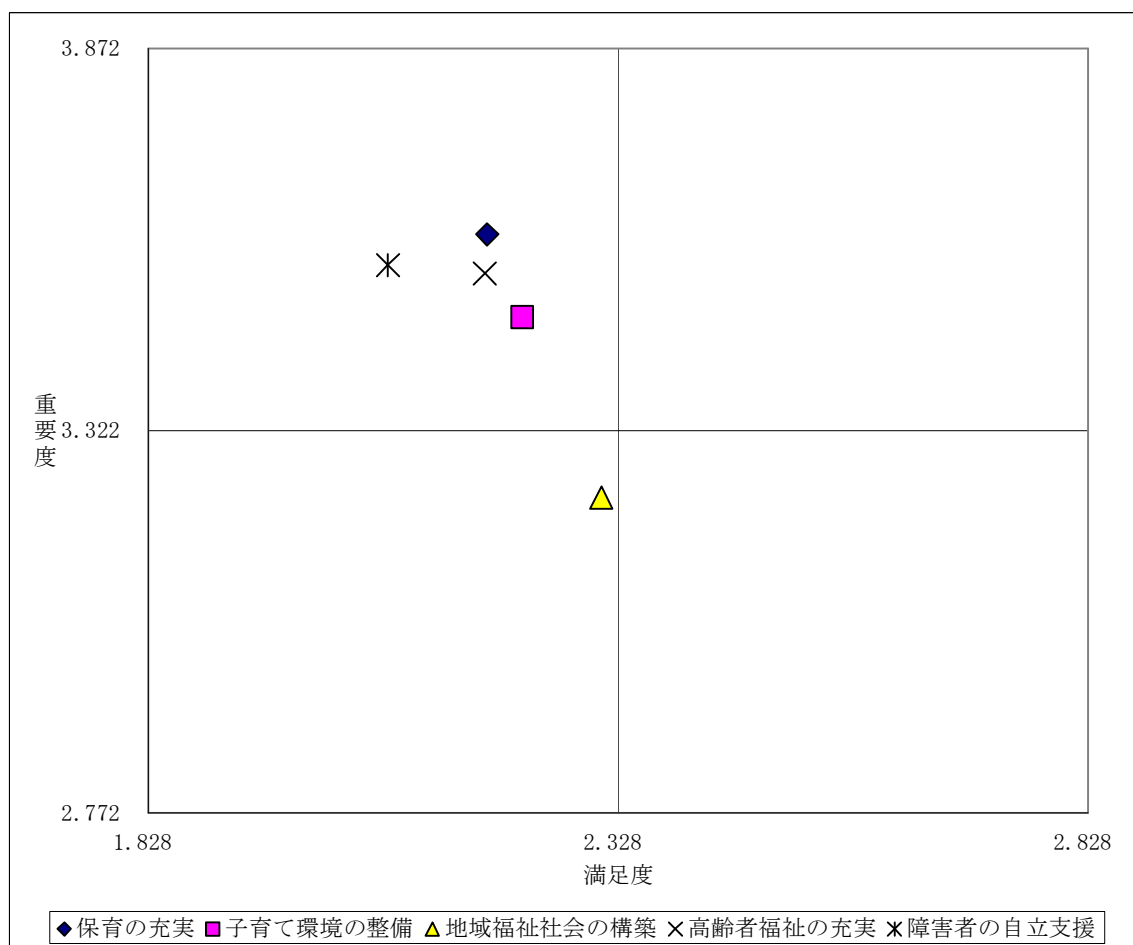
健康医療分野
全体

| | 得点 | | 割合 | |
|------------------|-------|-------|--------|--------|
| | 満足度 | 重要度 | 満足 | 不満 |
| 健康づくりの推進 | 2.403 | 3.048 | 48.67% | 51.33% |
| スポーツ・レクリエーションの推進 | 2.447 | 2.928 | 52.23% | 47.77% |
| 保健予防サービスの推進 | 2.629 | 3.592 | 62.07% | 37.93% |
| 医療体制の充実と強化 | 2.296 | 3.741 | 42.86% | 57.14% |
| 介護保険制度の円滑な運営 | 2.127 | 3.657 | 33.94% | 66.06% |
| 社会保障制度の充実 | 2.186 | 3.755 | 38.35% | 61.65% |



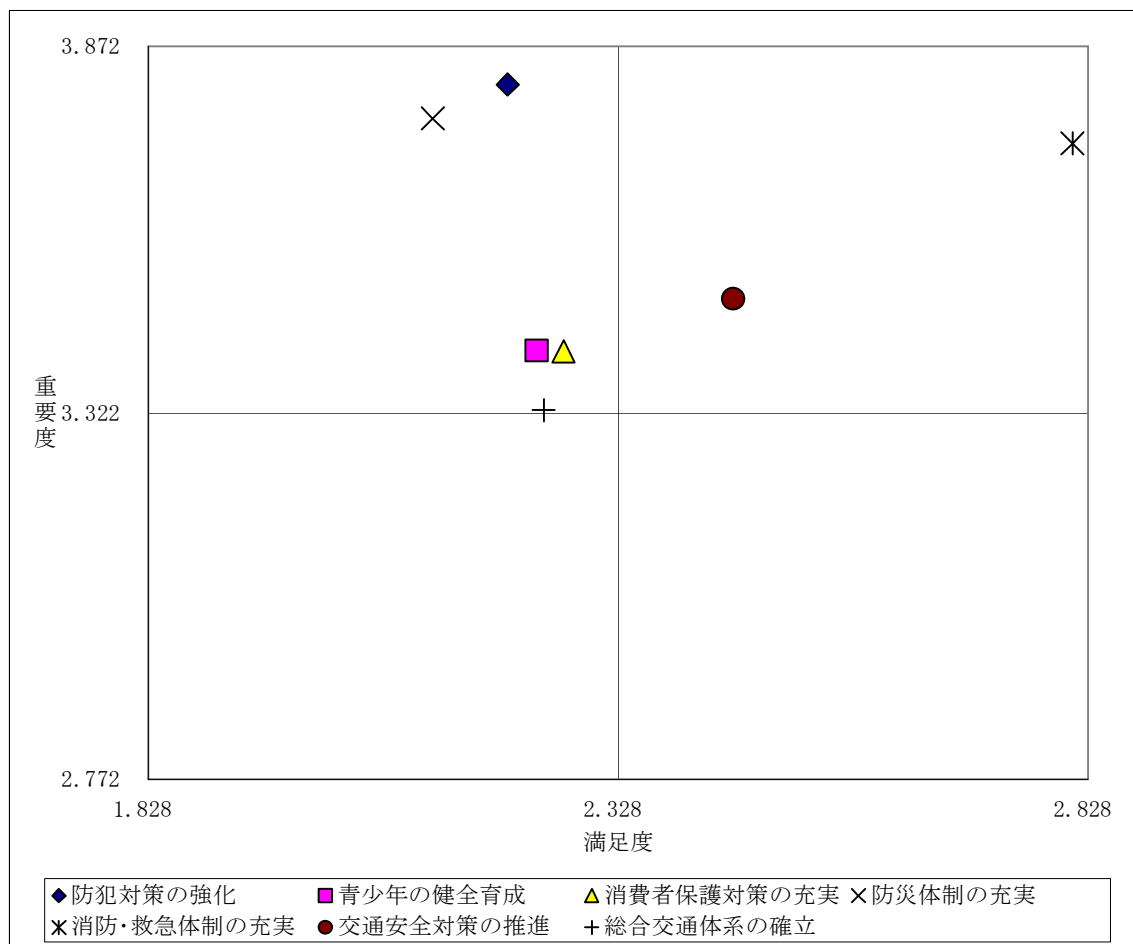
福祉分野
全体

| | 得点 | | 割合 | |
|-----------|-------|-------|--------|--------|
| | 満足度 | 重要度 | 満足 | 不満 |
| 保育の充実 | 2.188 | 3.604 | 39.24% | 60.76% |
| 子育て環境の整備 | 2.226 | 3.485 | 41.71% | 58.29% |
| 地域福祉社会の構築 | 2.310 | 3.225 | 42.93% | 57.07% |
| 高齢者福祉の充実 | 2.186 | 3.548 | 37.00% | 63.00% |
| 障害者の自立支援 | 2.083 | 3.560 | 30.41% | 69.59% |



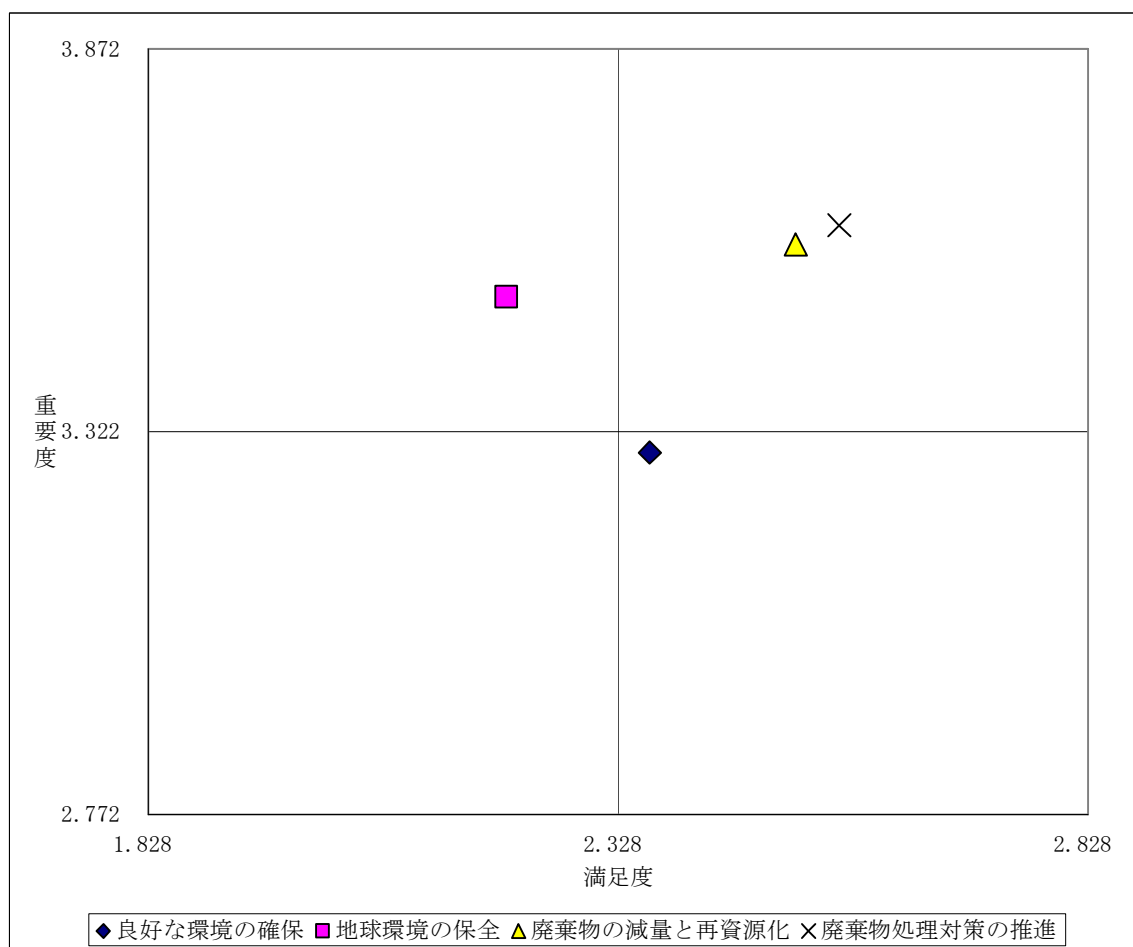
安心安全分野
全体

| | 得点 | | 割合 | |
|------------|-------|-------|--------|--------|
| | 満足度 | 重要度 | 満足 | 不満 |
| 防犯対策の強化 | 2.210 | 3.814 | 39.41% | 60.59% |
| 青少年の健全育成 | 2.241 | 3.415 | 38.05% | 61.95% |
| 消費者保護対策の充実 | 2.270 | 3.414 | 40.26% | 59.74% |
| 防災体制の充実 | 2.130 | 3.763 | 34.40% | 65.60% |
| 消防・救急体制の充実 | 2.811 | 3.726 | 72.20% | 27.80% |
| 交通安全対策の推進 | 2.450 | 3.493 | 52.06% | 47.94% |
| 総合交通体系の確立 | 2.249 | 3.326 | 42.35% | 57.65% |



環境分野
全体

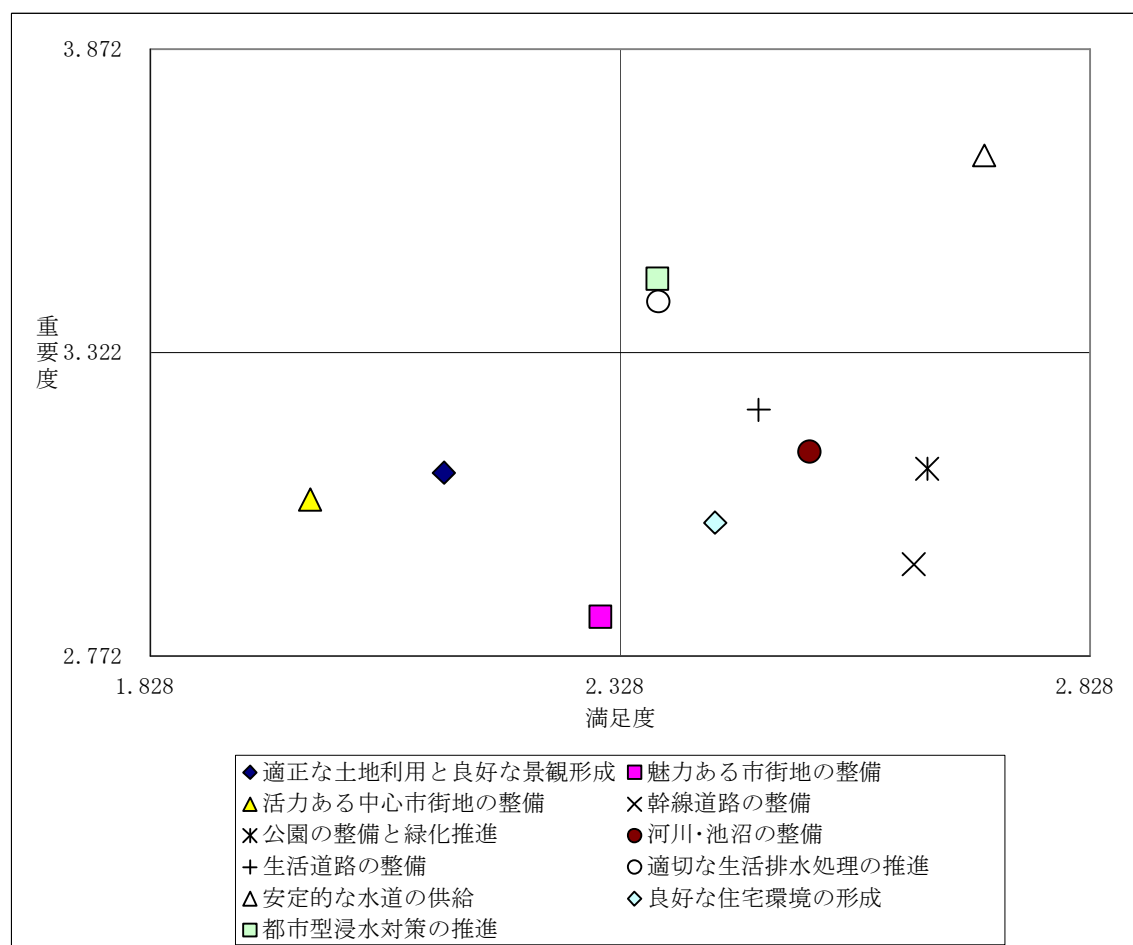
| | 得点 | | 割合 | |
|-------------|-------|-------|--------|--------|
| | 満足度 | 重要度 | 満足 | 不満 |
| 良好な環境の確保 | 2.361 | 3.292 | 45.38% | 54.62% |
| 地球環境の保全 | 2.209 | 3.516 | 38.53% | 61.47% |
| 廃棄物の減量と再資源化 | 2.517 | 3.591 | 54.45% | 45.55% |
| 廃棄物処理対策の推進 | 2.563 | 3.618 | 57.82% | 42.18% |



都市整備分野

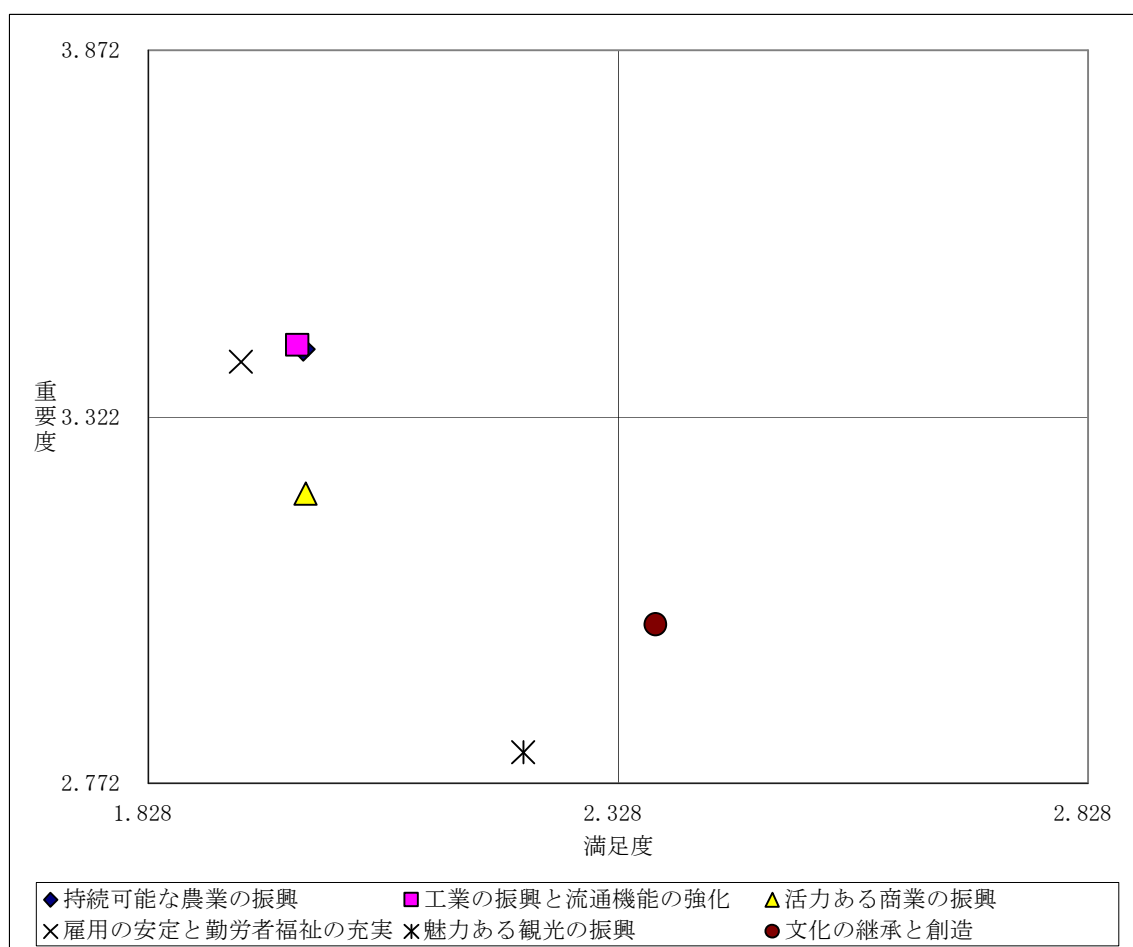
全体

| | 得点 | | 割合 | |
|-----------------|-------|-------|--------|--------|
| | 満足度 | 重要度 | 満足 | 不満 |
| 適正な土地利用と良好な景観形成 | 2.140 | 3.104 | 36.98% | 63.02% |
| 魅力ある市街地の整備 | 2.307 | 2.843 | 44.70% | 55.30% |
| 活力ある中心市街地の整備 | 1.998 | 3.056 | 26.54% | 73.46% |
| 幹線道路の整備 | 2.640 | 2.938 | 62.57% | 37.43% |
| 公園の整備と緑化推進 | 2.655 | 3.112 | 62.19% | 37.81% |
| 河川・池沼の整備 | 2.529 | 3.142 | 54.18% | 45.82% |
| 生活道路の整備 | 2.475 | 3.218 | 54.09% | 45.91% |
| 適切な生活排水処理の推進 | 2.368 | 3.414 | 48.19% | 51.81% |
| 安定的な水道の供給 | 2.715 | 3.679 | 65.70% | 34.30% |
| 良好な住宅環境の形成 | 2.429 | 3.013 | 49.33% | 50.67% |
| 都市型浸水対策の推進 | 2.367 | 3.455 | 46.30% | 53.70% |



産業観光分野
全体

| | 得点 | | 割合 | |
|----------------|-------|-------|--------|--------|
| | 満足度 | 重要度 | 満足 | 不満 |
| 持続可能な農業の振興 | 1.993 | 3.423 | 24.71% | 75.29% |
| 工業の振興と流通機能の強化 | 1.986 | 3.430 | 25.90% | 74.10% |
| 活力ある商業の振興 | 1.995 | 3.207 | 26.46% | 73.54% |
| 雇用の安定と勤労者福祉の充実 | 1.927 | 3.405 | 23.47% | 76.53% |
| 魅力ある観光の振興 | 2.227 | 2.819 | 36.64% | 63.36% |
| 文化の継承と創造 | 2.368 | 3.010 | 47.25% | 52.75% |



(6) 平成 17 年度実施の満足度調査との比較

項目等が多少異なっているため一概に比較はできないが、参考として平成 17 年度実施の満足度調査との比較表を作成した。

| 平成21年度 | | 平成17年度 | | 差 | |
|--------|------------------|--------|----------------------|-------|--------|
| 行財政分野 | 効率的な行政運営 | 1.976 | ムダのない効率的な行政運営の推進 | 1.791 | +0.185 |
| | 健全な財政運営 | 1.990 | | | - |
| | 都市間連携の強化 | 2.294 | 広域的なまちづくりの推進 | 2.218 | +0.076 |
| | 市民サービスの向上 | 2.710 | 市民サービスの向上 | 2.260 | +0.450 |
| | 電子自治体の構築 | 2.522 | | | - |
| | 情報の公開と適正な管理 | 2.324 | | | - |
| | 広報・広聴の充実 | 2.631 | 広報紙などによる情報提供の充実 | 2.640 | △0.009 |
| 協働共生分野 | 市民参加の推進 | 2.196 | 市政へ積極的に参加できる仕組みづくり | 2.005 | +0.191 |
| | 協働まちづくり活動の推進 | 2.386 | 市民と行政との協働によるまちづくりの推進 | 2.226 | +0.160 |
| | 地域コミュニティの充実 | 2.381 | コミュニティ活動が活発であること | 2.614 | △0.233 |
| | 人権の尊重 | 2.384 | 人権を尊重した社会づくり | 2.438 | △0.054 |
| | 男女共同参画社会の確立 | 2.349 | | | - |
| | 地域の国際化の推進 | 2.260 | 国際化の推進 | 2.328 | △0.068 |
| 教育分野 | 幼児・学校教育の充実 | 2.320 | 小中学校教育の内容の充実 | 2.268 | +0.052 |
| | 児童の健全な心身の育成 | 2.671 | 学校保健の充実 | 2.616 | +0.055 |
| | 教育施設の充実 | 2.516 | 教育施設の充実 | 2.382 | +0.134 |
| | 高等学校教育の充実 | 2.314 | 高等教育の機会の充実 | 2.218 | +0.096 |
| | 高等教育機関の充実と連携 | 2.202 | | | - |
| | 生涯学習の振興 | 2.328 | 生涯学習の場や機会の充実 | 2.346 | △0.018 |
| | 文化財の保護と活用 | 2.408 | 伝統行事などの伝承や文化財の保護 | 2.442 | △0.034 |
| | | | | | |
| 健康医療分野 | 健康づくりの推進 | 2.403 | 健康づくりの場や機会の充実 | 2.296 | +0.107 |
| | スポーツ・レクリエーションの推進 | 2.447 | スポーツなどの場や機会の充実 | 2.415 | +0.032 |
| | 保健予防サービスの推進 | 2.629 | 保健サービスの充実 | 2.839 | △0.210 |
| | 医療体制の充実と強化 | 2.296 | 高度で専門的な医療体制の整備 | 2.168 | +0.128 |
| | 介護保険制度の円滑な運営 | 2.127 | 介護保険サービス・介護予防の充実 | 2.423 | △0.296 |
| | 社会保障制度の充実 | 2.186 | 社会保障制度の充実 | 2.394 | △0.208 |
| 福祉分野 | 保育の充実 | 2.188 | 保育サービスの充実 | 2.461 | △0.273 |
| | 子育て環境の整備 | 2.226 | 地域社会と一体となった子育て環境の整備 | 2.191 | +0.035 |
| | 地域福祉社会の構築 | 2.310 | 地域ぐるみの福祉活動組織などの整備、充実 | 2.192 | +0.118 |
| | 高齢者福祉の充実 | 2.186 | 生きがいを持って暮らせる環境の整備 | 2.150 | +0.036 |
| | 障害者の自立支援 | 2.083 | 障害者が安心して暮らせる環境の整備 | 1.929 | +0.154 |
| | | | | | |
| 安心安全分野 | 防犯対策の強化 | 2.210 | 安心して暮らせる社会づくり | 2.150 | +0.060 |
| | 青少年の健全育成 | 2.241 | | | - |
| | 消費者保護対策の充実 | 2.270 | 消費者保護対策の充実 | 2.086 | +0.184 |
| | 防災体制の充実 | 2.130 | 災害からの安全対策の充実 | 2.468 | △0.338 |
| | 消防・救急体制の充実 | 2.811 | 消防体制、救急医療体制などの充実 | 2.837 | △0.026 |
| | 交通安全対策の推進 | 2.450 | 交通安全対策 | 1.999 | +0.451 |
| | 総合交通体系の確立 | 2.249 | 公共交通の充実 | 2.049 | +0.200 |
| 環境分野 | 良好な環境の確保 | 2.361 | 自然の保全 | 2.311 | +0.050 |
| | 地球環境の保全 | 2.209 | 地球温暖化防止対策の推進 | 1.893 | +0.316 |
| | 廃棄物の減量と再資源化 | 2.517 | ゴミの減量化やリサイクル | 2.307 | +0.210 |
| | 廃棄物処理対策の推進 | 2.563 | 廃棄物処理対策 | 1.818 | +0.745 |
| | | | | | |
| 都市整備分野 | 適正な土地利用と良好な景観形成 | 2.140 | | | - |
| | 魅力ある市街地の整備 | 2.307 | 街なみを郊外へ拡充 | 2.488 | △0.181 |
| | 活力ある中心市街地の整備 | 1.998 | 既成市街地の再開発などの再整備 | 2.152 | △0.154 |
| | 幹線道路の整備 | 2.640 | 幹線道路の整備 | 2.671 | △0.031 |
| | 公園の整備と緑化推進 | 2.655 | 緑化の推進 | 2.689 | △0.034 |
| | 河川・池沼の整備 | 2.529 | | | - |
| | 生活道路の整備 | 2.475 | 身近な生活道路の整備 | 2.365 | +0.110 |
| | 適切な生活排水処理の推進 | 2.368 | 生活排水処理対策の充実 | 2.216 | +0.152 |
| | 安定的な水道の供給 | 2.715 | | | - |
| | 良好な住宅環境の形成 | 2.429 | | | - |
| | 都市型浸水対策の推進 | 2.367 | | | - |
| 産業観光分野 | 持続可能な農業の振興 | 1.993 | 農業振興 | 2.234 | △0.241 |
| | 工業の振興と流通機能の強化 | 1.986 | 工業振興 | 2.059 | △0.073 |
| | 活力ある商業の振興 | 1.995 | 商業振興対策 | 1.793 | +0.202 |
| | 雇用の安定と勤労者福祉の充実 | 1.927 | | | - |
| | 魅力ある観光の振興 | 2.227 | 観光拠点の整備や活性化 | 2.118 | +0.109 |
| | 文化の継承と創造 | 2.368 | 文化鑑賞機会や文化活動の場の充実 | 2.277 | +0.091 |
| | | | ひとり親家庭の自立支援策の充実 | 2.050 | - |